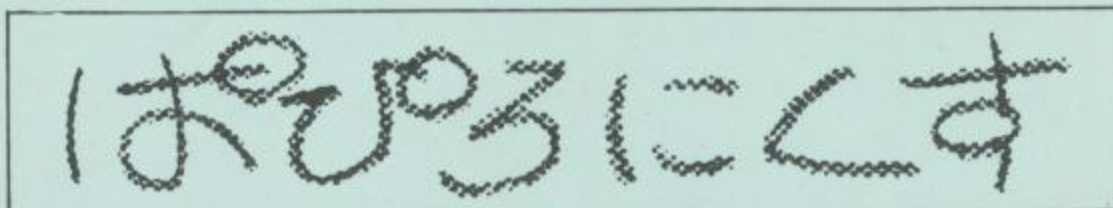


パピルス &amp; エレクトロニクス



大阪工業大学中央図書館

〒535 大阪市旭区大宮5-16-1

☎ 06-952-3131

## 図書離れと「図書館には見たい本がない」

細川孝行

(工大・電子工学科・教授)

数年前、永らく造船界で活躍している小学校時代の友達に、「相変らず古いノートで講義をしているのだろう」と皮肉られたことがある。このことは、大学の教育が、工学並びに技術分野の進歩になるべく追従してほしいと云う社会的要請に答えていないと云う日頃の不満を表明した言葉とも受取れる。しかし、実態としては、我々大学教員はそれ程悠長ではない。特に高年次の講義ではそうである。

他面、大学の修業年限は相変らず四年間のままである。そこで、勢い講義時間を有効に利用する為に、教科書の採用と、その他、配付プリントなどの補助教材も整備することになる(最近では、塾ででも採用したら良いようなCAI: Computer aided instructionと云う、コンピュータ専攻の私でもその内容によっては首をかしげたくくなるような代物を大学に導入してはと云うような動きさえ有る)。それだけではない。我々教員は、教科書も内容が時代遅れに少しでもなれば、出版元を通じて、著者に内容の改訂要請もしなければならぬし、国内出版物で間に合わねば洋書を翻訳して使ったりしなければならない。

一見、学生諸君に対し親切そうに見える教科書採用とか、補助教材の活用は、逆に着実に、学生諸君の図書離れを生じさせ、教科書以外は縁がないと思わせる原因となってしまった。



さらには、時代時代に適した教科書の出版も難しくなって来ており、加えて著作権問題が出版業界の頸を着実にしめつけて来ている現状である。そこで、出版業界も、印刷・出版に対し、コンピュータ利用による自動化技術の開拓で営業しようとする動きが強まって来て、ここでは、今度は教科書出版離れを生じさせている。

我々教員にとって、共に頭の痛い問題となって来た。

出版図書の傾向も変って来た。所蔵して、永く後世に残さねばならないと云う面で価値のある出版物よりも、解説書的なもので、実用寿命の短いものの方が出版比率として圧倒的に多くなると共に、社会的にもそのような

出版物の発行が要請されているのが実状である。そこで、これら出版物の余りの多さに、国公立を問わず、公共用の図書館では一斉に工学・技術関係図書の所蔵を止めてしまった。国立国会図書館でさえも、工学・技術分野については、学術雑誌を除き、単行本の整理・閲覧化を放棄したように見受けられる。大手販売書店も理工学書の取扱いを止めるとか、または削減するところが増えて来た。

大学の図書館でもその傾向は否定できない。そこで、図書館を訪れても本がないと学生諸

君が今度はぼやく次第となる。程度差はあれ、どの大学図書館でも同じ傾向にある。

以上述べた何れの事情も、工学・技術領域からみた大学図書館運営上の一大危機と云うことになるだろうが、どうか学生諸君も読みたい書籍で、しかも自分以外にもその希望があると思われるものは、積極的に購入要請をし、また、図書館でもその必要を認めたものは、卒業研究など期日的に迫られた事情もあることであるから、一ヶ月間位で備付けられるようにしてほしいものである。

## シリーズ No. 2 図書館の仕事

### (3) 雑誌係

雑誌係という係名は先の館報で紹介した奉仕・整理係より具体的に係の業務内容をあらわしています。しかし、一口に雑誌と言ってもその種類は非常に多く、外国で発行されるものもありますから語学力も要求されます。その種類は大きく分けても①学術雑誌（学会・協会、大学等の団体が発行する逐次刊行物でこの中には教員の研究論文を掲載した「紀要」も含まれます）②商業出版誌③社内報やPR誌④政府刊行誌等になります。この中で最も多いのは①の学術雑誌です。本館では和洋合わせて1500種の雑誌を購入しています。

それでは係の仕事内容を業務の流れに沿って紹介していきます。仕事は一言で言えば雑誌の①発注（次年度からは「更新」）②受入れ③保管ということになります。

#### (1) 発注

発注する雑誌が毎年変わるということはありません。しかし時々誌名変更等がありますので注意が必要です。

洋雑誌は1年単位でまとめて契約し、発注します。和雑誌は入手可能なものは一般の書店に発注、入手不可能なもの、たとえば学会誌・協会誌や論文集等、会員でなければ入手

できないものは当館が団体加盟したり、館員が加盟するという方法で発注しています。発注処理は端末機で行っています。

#### (2) 受入れ

受入れというのは納入された雑誌の①誌名、②巻・号、③価格④購入先⑤購入年月日等を記録することです。従来はカードに記録していましたが、これも現在は端末機により処理しています。

#### (3) 保管

受入れ処理が完了した雑誌は、2階の学術雑誌室に配架し、1年間バラ雑誌の状態を利用されます。1年間を経過しますと合冊製本し、隣室の雑誌書庫に移します。ここに10年間保管し、その後は第3図書室に移します。

以上が「雑誌係」の大まかな仕事内容です。これ以外にも係の処理する業務はたくさんありますが、なかでも雑誌は単行本と違って欠号が出ないように注意が必要です。この点も雑誌管理システムのおかげで欠号の早期発見と迅速な対応が可能になりました。また今後は所蔵目録の作成等も予定していますのでより一層使いやすい図書館になるでしょう。

# 淀川ぶらり散策 〈第2話 城北の春〉

淀川の川面を渡る風が、暖く感じられるとき、城北に春が訪ずれる。

川面に反射する陽の光は、キラキラと明るく春の調べを奏でている。

新入生諸君、ご入学おめでとう。

春は、やはり桜である。新入生の諸君、チョット城北公園に行ってみませんか。園いっばいに、桜が咲きほこり、目をなごませてくれる。沢山の人々が集い、あちこちで花見の宴を催す姿がみられる。手拍子に合せ、歌う人、踊る人と、持参の弁当をつつきながら酒を酌み交わし、楽しげである。落語の「長屋の花見」ではないが、桜には賑やかな雰囲気が出る。桜は散りぎわがまたよい。花びらの降りしきる中を歩くのも、風情があり、なかなかのものである。

城北公園は、昭和9年に当時、天王寺、大阪城公園につぐ3番目の大公園として完成した。公園となる以前この一帯は、明治43年に

完成した新淀川により、川の流れが変わり、元の淀川の廃川敷地となり、それまでの河水がたまり一面の貯水池のようになっていたという。園内の池はこの貯水池の名残りである。

園内には他に、菖蒲園があり、約 250品種 13,000余株が栽培されている。5月下旬から6月下旬にかけて花を咲かす。ここ城北のシヨープは、大阪の人々に親しまれ、桜とはまた違ったおもむきを示している。最も早く咲くのが姿のやさしい江戸系統の花菖蒲で、ついで花型や花色に変化の多い伊勢系統が咲き、最後に肥後系統の赤紫の大きな花が咲く。品種名も「万里の響」「紫雲竜」(江戸系統)、「紫式部」「浪花津」(伊勢系統)、「神楽獅子」「水天一色」(肥後系統)とあでやかな感じである。

桜や花菖蒲を愛でながら、ぶらり、ぶらりと歩くのも一興である。新入生の諸君、チョット城北公園に行ってみませんか。

〈第2話 城北の春〉完

## 図書紹介 (青年期コーナーから)

いま読まれている……!?

今日から大学生。「さあ遊ぶぞオー」、そんな声が聞えてきそうなキャンパス。明るいのは春の陽気ばかりではなく諸君の心の中が希望と期待に満ちあふれているからなのでしょう。しかし、人生いつも晴れてばかりはいてくれません。曇ったり雨の時はどうするか? 図書館ではそんな時のために「青年期コーナー」を用意しています。その書架から1冊の本を紹介します。「大人になることのむずかしさ」(詳細は画面参照) という本です。

この本は青年期のつまづきに焦点を当て「大人になること」について共に考えてゆこうというのが狙いになっています。心理療法家の著者が具体例によって述べる読みやすい本です。一読して下さい。

(注)「青年期コーナー」は、第1図書室へ入って左にあります。

L1052 \*\*\*\*\* (図書紹介) \*\*\*\*\* 85.03.14

【図書番号】 008325227

【書名】 子どもと親を考える (2) 大人になることのむずかしさ : 青年期の問題

【著者】 河合 肇

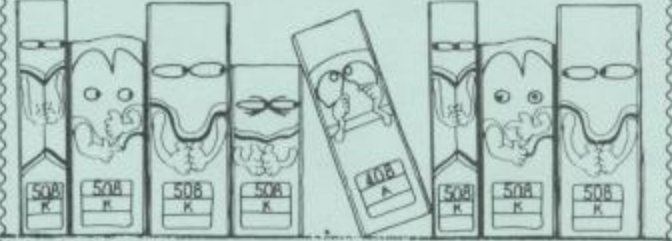
【出版社】 岩波書店

【注記】

【件名】

【大きさ】 19	【請求記号】 370.8 K2	【最新発行日】 85.02.26
【ページ】 221 P.	【資料形態】 T	【出版年】 1984
【言語】	【付属資料】	【出版地】
【受入日】 84.03.06	【受入種別】 ¥950	【予算】 J
【区分】 J-K	【発注番号】 8317153000	【受入先】 H01
【索書コード】	【ISBN】	【和・洋】 0
【所属館】 工大中央	【配架場所】 青年期C o r	【取書区分】
【発行者】	【送部形態】	【登録番号】 008325227
		【予約者】

### 〈図書館からのおねがい〉



わたしたちを迷子にしないでください。

## 図書館活用の手引き ⑦ 新入生のための Q & A

今回は新入生のみなさんを対象に図書館の利用について問答形式で書いてみました。

### 1. 図書館にはどんな資料がありますか？

図書館に所蔵されている資料は、(1)図書(普通図書、参考図書等26万冊)、(2)雑誌(和・洋あわせて1,500種)、(3)新聞(18種)、(4)語学テープ(2,500本)などです。

### 2. どうすれば利用できますか？

中央図書館には各種の資料が一つのきまりにしたがって整理されています。あなたが必要とする資料を早く、確実に見つけるためにはある程度そのきまりを知っておくことが大切です。

そこで、利用に際しては貸出しのできるものと、そうでないものを知っておくことが必要です。貸出しを受けられるものは、(1)の普通図書と(4)の語学テープです。それ以外の資料は館内でのみ利用(閲覧)できます。

貸出し手続きは、貸出しを希望する図書に学生証を添えてカウンターへ提出して下さい。それだけでけっこうです。

### 3. 効果的な図書館利用法があれば教えてください。

効果的に利用するためにはまず、自分がどんな目的でどんな資料を探そうとしているのかをはっきりさせておかねばなりません。次に、資料を探す方法がわかっていなくてはなりません。方法としては、(1)所蔵検索用の開

放端末機を使って探す、(2)係員に相談(レファレンスサービス)してみる、などです。

### 4. 見たい資料がない場合はどうすればよいのですか？

希望図書購入の制度を利用して下さい。手続きは所定の用紙で申込むだけです。あなたのために購入し一番最初に利用していただきます。

### 5. 「日曜開館」とはどのようなものですか？

「日曜開館」は前・後期試験の期間中に限って特別に開館されます。向学心に燃える諸君のために冷暖房のきいた快適な学習環境を提供しようというものです。利用内容は(1)閲覧と(2)複写ができます。詳細はその都度掲示でお知らせします。ご利用下さい。

### 6. 1～5以外の利用について知るにはどうすればよいのですか？

「大阪工業大学中央図書館利用案内」を参照して下さい。館内に用意していますので自由にお取り下さい。

さて、図書館活用について参考になりましたでしょうか？図書館では利用者のみなさんに必要な情報を提供できるよう常に心掛けております。卒業研究に着手する迄に何度も何度も来館して笑顔で卒業できることを期待しています。図書館はあなた達のためにあることを忘れないで下さい。

## 編集後記

✳「図書離れと……」問題提起、ありがとうございました。学生希望図書購入については59年度は102件(58年度87件)の申込みがあり、毎年着実に増えております。

今後とも利用者の声に耳を傾けていきます。

✳昭和57年4月に図書館の機械化が稼動して以来、今日まで開発・改善・拡張が続けられてきました。今年の夏頃には、端末装置の増設も実現。いよいよ楽しみな図書館が期待できそうです。